

障がいのあるわが子と一緒に動作法を学び、実践している親の会です。親子で動作法を学び、家庭でも取り入れることで、上手にからだを動かしたり、他人と仲良くコミュニケーションがとれるようになることを目的に設立されました。

会員は、子どもの障がいの種類や年齢に関係なく集い、毎月の定例訓練会をはじめ、夏に行われる5泊6日の集中訓練キャンプ、お楽しみ会などを主な活動内容としています。自立に向けて楽しく、時に厳しく援助や支援の方法を学んでいます。

主な活動内容

毎月2回の定例訓練会（第2土曜日 知的・発達障害対象、第4土曜日 肢体不自由・重複障害対象）の他、年間を通してさまざまなイベントを行います。

4月 琉球大学公開講座への参加
「心理リハビリテーション ボランティア養成講座」

8月 短期集中訓練キャンプ
5泊6日の間、寝食を共にし訓練に集中。お楽しみあり♪

12月 お楽しみクリスマス会

年1回 全国大会派遣 ※希望者
日本リハビリテーション心理学会、心理リハビリテーションの会

- 福岡県・やすらぎ荘親子研修会等への派遣
- 財源確保のための物品販売

動作法とは？

心理リハビリテーションと動作法

動作法は成瀬 悟策（九州大学名誉教授）を中心とした心理学者グループによって開発された姿勢と動作の改善法です。1960年代半ばから脳性まひによる肢体不自由がある人のために研究がスタートし、姿勢や動作の好ましい変化が、こころのあり方を含んだ「その人まるごと」の健康を増進することがわかりました。

現在では障がいのある人もない人にも効果的な心身の調整法として利用されています。そして心理リハビリテーションとは、動作法を中心として集団療法、生活指導、支援者の研修などを組み合わせた活動の総体を指します。



自然体の自分であることを目指して

動作法の効果

大まかには、運動発達や姿勢獲得の遅れの改善、コミュニケーションの発達促進、心理的安定、があげられます。言い換えれば、姿勢の矯正（重力に適応したリキみのない自然体）、自己コントロール能力および社会性の発達（自分らしく自然に振る舞える、適切な人付き合いができる）が動作法に期待される効果と言えます。動作を通して自分で自分の不自由さに向き合い、それを乗り越えて自由な自分、自然体の自分になることを動作法は目指しています。

ともに学び、喜びを分かち合う

動作法の手続き

動作法は障がいのある人と援助者が1対1で行います。援助者は①見立てと動作課題の設定（インテーク）、②動作を通じた支援、③効果の確認をします。見立てでは、その人が今、直面している（あるいは避けて通っている）姿勢・動作の困難さを見きわめます。そしてその困難さをどのように乗り越えるか課題を設定します。このため、援助者は姿勢や動作の見方と援助方法をしっかり学ばなければなりません。「心理リハビリテーション・動作法を学ぶ親の会 はづき会」は障がいのあるひととその家族が地域の専門家とともに動作法を習熟していくための学びの場です。



はづき会 沿革

- 昭和 51 年 鏡が丘養護学校 PTA と那覇養護学校
保護者会の共催で第 1 回沖縄キャンプを開催
- 昭和 61 年 第 7 回沖縄キャンプ開催を機に「はづき会」創立
以降、毎年キャンプを開催。
毎月 1 回の定例訓練を開始
- 平成 元 年 第 10 回沖縄キャンプを那覇市の教育会館にて開催
- 平成 15 年 会員増加に伴い定例訓練会を月 2 回に増やす
- 平成 16 年 第 25 回沖縄キャンプを県立玉城少年自然の家にて開催
- 平成 17 年 日本リハビリテーション心理学会及び心理リハビリテーションの会沖縄大会開催
- 平成 21 年 第 30 回沖縄キャンプ開催
- 平成 26 年 第 35 回沖縄キャンプ開催



関連機関・団体

心理リハビリテーション動作法 沖縄研究機関
琉球大学 保健管理センター
沖縄国際大学 人間福祉学科

青春キャンプ

(成人トレーナーの 2 泊 3 日訓練キャンプ)

動作法がんばる会

(北部・やんばる地域で定例会を開催)

連絡先

琉球大学保健管理センター

教授 古川 卓

TEL : 098-895-8144

FAX : 098-895-8148

はづき会 動作法を学ぶ親の会

仲里 佐代美

TEL : 090-9789-7098

随 時 会 員 募 集 中

まずは見学に来ませんか？お気軽にお問合せください。



はづき会

心理リハビリテーション動作法を学ぶ親の会

